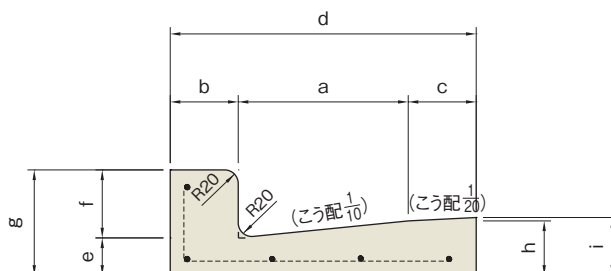


L形側溝

鉄筋コンクリートL形（JIS A 5372 推奨仕様E-4）

寸法図（JIS規格）

（単位:mm）



呼び名		寸 法										重量(kg)
		a	b	c	d	e 注(4)	f 注(1)・注(2)	g 注(3)	h	i	ℓ	
鉄筋 コンクリート L形1種	250A	250	100	—	350	55	100	155	80	—	600	48
	250B	250	100	100	450	55	100	155	80	85	600	59
	300	300	100	100	500	55	100	155	85	90	600	65
	350	350	100	100	550	55	100	155	90	95	600	72

注(1)寸法 f は50mmとすることができる。

注(2)寸法 f は左右いずれか一方を20～50mmにすることができる。

注(3)寸法 f を20～50mmとしたときのg寸法は、e寸法に20～50mmを加えた値とする。

注(4)エプロンこう配は、2/100～1/10とすることができる。こう配を変更したときの寸法h及び寸法iは変更することなく、寸法eに寸法の変更によって生じた厚さを加えた値とする。

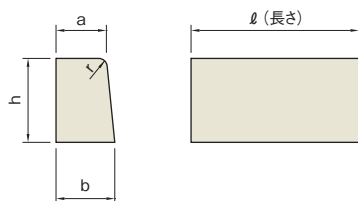
境界ブロック

コンクリート境界ブロック（JIS A 5371 推奨仕様B-2）

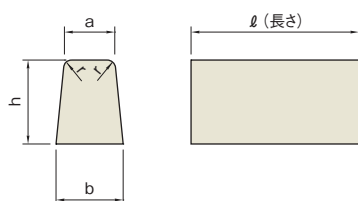
寸法図（JIS規格）

（単位:mm）

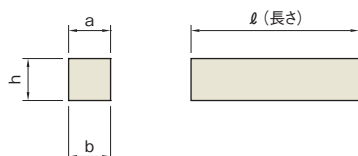
（片面歩車道境界ブロック）



（両面歩車道境界ブロック）



（地先境界ブロック）



呼び名		寸 法(mm)					重量(kg) 注(2)
		a	b	h	r	ℓ 注(1)	
片面歩車道境界 ブロック	A	150	170	200	20	600	44
	B	180	205	250	30	600	66
	C	180	210	300	30	600	81
両面歩車道境界 ブロック	A	150	190	200	20	600	48
	B	180	230	250	30	600	72
	C	180	240	300	30	600	89
地先境界 ブロック	A	120	120	120	—	600	20
	B	150	150	120	—	600	25
	C	150	150	150	—	600	31

注(1) 歩車道境界ブロックの寸法 ℓ は、1000mm又は2000mmとすることができる。

注(2)重量は ℓ =600の重量です。

備考1. 面取り、切欠き、持ち運びのための側面のくぼみ、露出面の模様、洗い出し、はつりなどのような形状に影響を与えず、強度及びブロックの機能（水の流れ、運転者の視線誘導など）を損なわない程度の加工は差し支えない。また、底面及び側面にはつり上げ具及び接合具を付けてもよい。

備考2. ブロックに安全標識（反射板など）を取り付けるなど、特別な機能を付加してもよい。その具体的な仕様（性能、取付位置など）については、ブロック購入者の指示に従うものとする。